

「ホワイトスペース特区」 先行モデルの決定について

平成22年7月30日

「ホワイトスペース特区」先行モデルの決定について

- 「新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム」では、「**ホワイトスペース特区**」を創設し、ホワイトスペースを活用したサービスやシステムの研究開発や実証実験を行い、制度化への反映やビジネス展開の促進につなげていくことを提言。
- 「ホワイトスペース特区」の先行モデルとして、検討チームでは以下を選定。
選定にあたっては、可能な限り認める方向で行い、財政的な問題等から継続可能性が確認できなかったものについて不可と判断。
なお、「ホワイトスペース特区」は今後も募集を予定しており、今回選定されなかった者についても応募することが可能。

先行モデル対象者	実施内容	場所
株式会社 湘南ベルマーレ	ワンセグによるスポーツ映像等の配信	神奈川県平塚市(平塚競技場、商店街等)
株式会社 TBSテレビ	赤坂サカス放送プロジェクト	赤坂サカス(東京都港区)
株式会社 トマデジ	ICT-Transport連携サービス	鹿児島中央駅及び周辺観光地
日本空港ビルディング株式会社	空港連携ワンセグ・サービス	羽田空港
株式会社 デジタルメディアプロ	地下空間におけるマルチメディア放送局	東京メトロ・東急 表参道～二子玉川 等
兵庫県地域メディア実験協議会	エリアワンセグを活用した地域限定放送局	神戸市長田区
宮城県栗原市	エリアワンセグによる災害情報等の配信	栗原市(市役所、公民館等)
YRP研究開発推進協会	エリアワンセグによる地域情報等の配信	神奈川県横須賀市(YRP地域)
社団法人 日本ケーブルテレビ連盟	CATV網を活用した地域ワンセグ放送	愛媛県新居浜市((株)ハートネットワーク)
日本放送協会	スーパーハイビジョンの実験	世田谷区砧(NHK放送技術研究所)
	エリアワンセグを活用した被災地情報の配信	名古屋市付近

(参考) 公開ヒアリングについて

○2010年4月、提案募集の提案者から直接提案内容を伺う場として公開ヒアリングを開催し、意見交換を実施。(全3回、延べ約400名が参加。)

○提案者からのプレゼンテーション後、以下の観点に基づき、メンバーによる質疑及び意見交換が行われた。

公開ヒアリングの観点

- ・ **提案モデルの確立可能性** (ビジネスとしての継続可能性)
- ・ **提案モデルの効果** (地域活性化や新産業創出など経済的効果や社会的効果)
- ・ **実現のために検討すべき課題** (制度的、技術的課題)

(敬称略)

公開ヒアリング対象者	提案内容
株式会社 湘南ベルマーレ	ワンセグによるスポーツ映像の配信
株式会社 テレビ神奈川	カレッジ・ワンセグ放送局
株式会社 TBSテレビ	赤坂サカス放送プロジェクト
株式会社 トマデジ	ICT-Transport連携サービス
日本空港ビルデング株式会社	空港連携ワンセグ・サービス
神奈川県藤沢市	デジタルサイネージによる地域情報配信、エリアワンセグを活用した湘南ブランディング構想
株式会社デジタルメディアプロ	地下空間におけるマルチメディア放送局
兵庫県地域メディア実験協議会(兵庫県)	エリアワンセグを活用した地域限定放送局
宮城県栗原市	エリアワンセグによる災害情報や地域情報の配信
YRP研究開発推進協会	エリアワンセグによる地域情報やイベント情報の配信
株式会社 NTTドコモ	コグニティブ無線技術の活用
九州工業大学 理事・副学長 尾家祐二 等	コグニティブ無線技術の導入
新潟大学教授 佐々木重信	小電力データ通信システム(コグニティブ無線技術)
社団法人 日本ケーブルテレビ連盟	CATV網を活用した地域ワンセグ放送
社団法人 日本民間放送連盟	エリアワンセグ
日本放送協会	スーパーハイビジョン、エリアワンセグを活用した被災地情報の配信
ホワイトスペース検討会(事務局 (株)ネクストウェーブ)	紙メディアのデジタル配信、電子デバイスへのM2M配信等

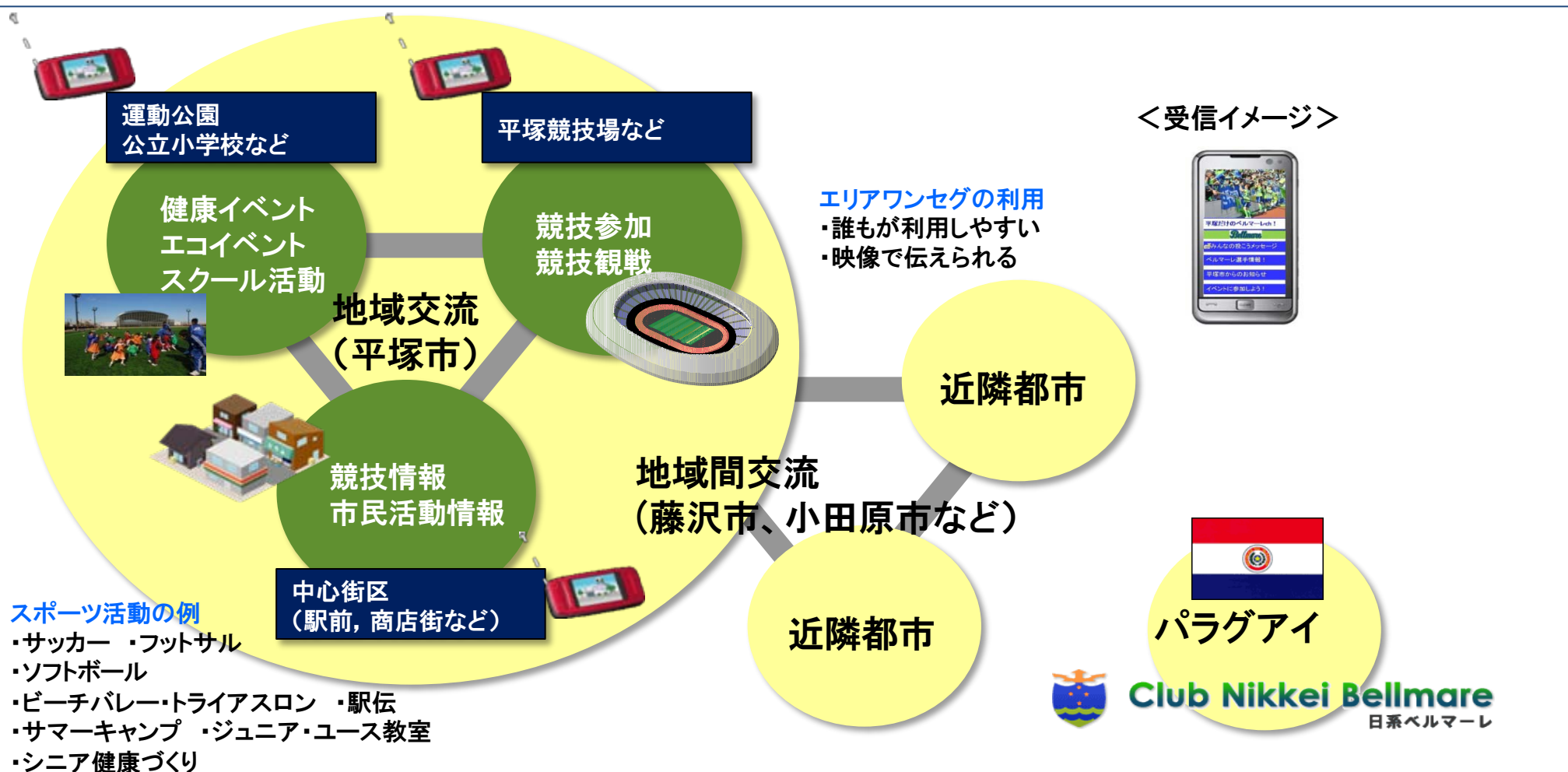
**「ホワイトスペース特区」
先行モデルの概要
(参考資料)**

【(株)湘南ベルマーレ】スポーツ交流を活かした地域活性化のための情報サービス

概要

スポーツ交流を活かした情報サービスの提供をエリアワンセグ等により実現し、地域活性化を目指す。

サービスイメージ図



概要

「赤坂サカスプロジェクト」と題して、赤坂の商店街など地域ぐるみの情報配信を行うことにより、地域の創富力を高め、モデルの全国展開を目指す。

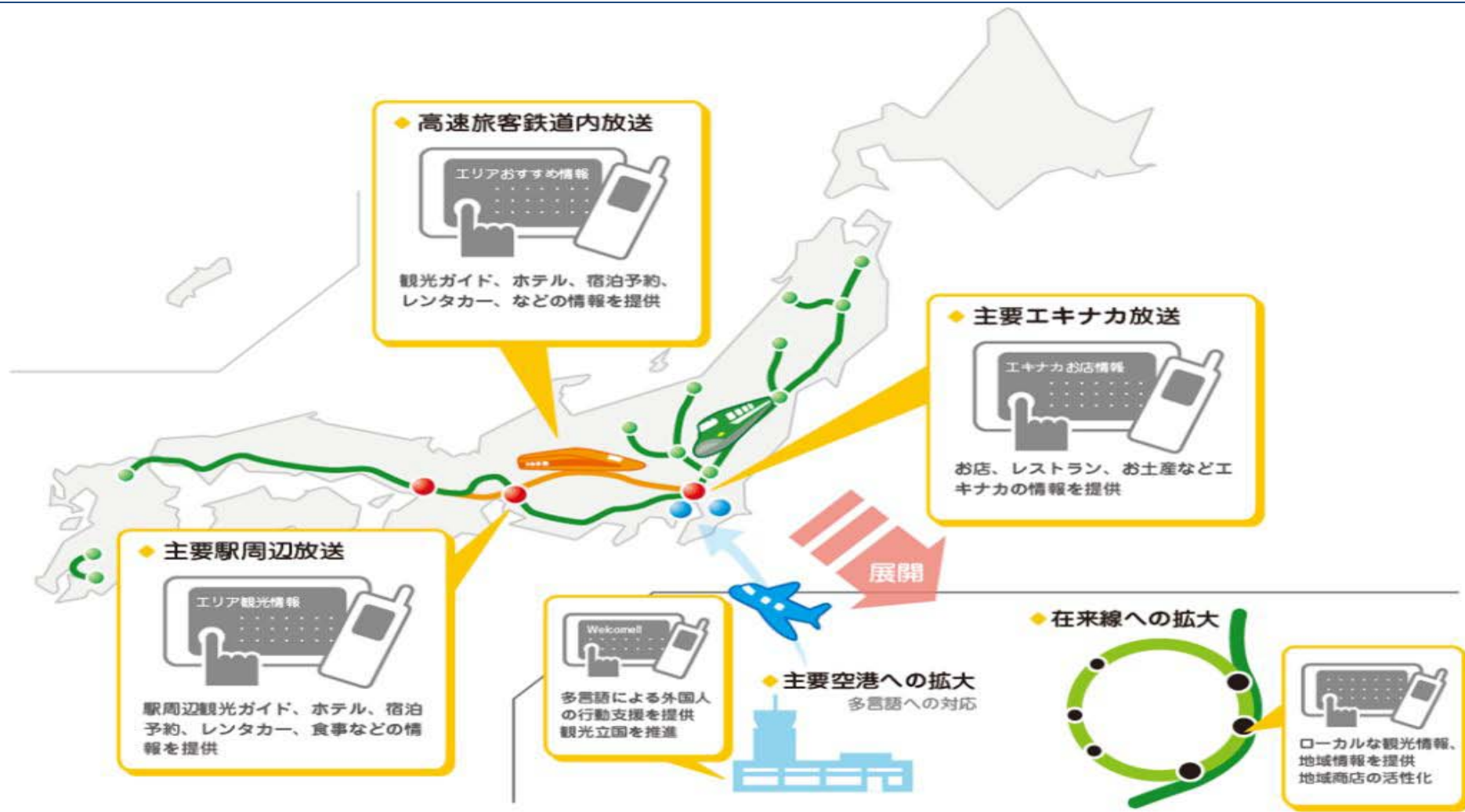
サービスイメージ図



概要

日本全国に張り巡らされる放送網と交通網(鉄道網)を連携させ、駅ナカ情報や地域情報を配信するICT-Transport連携サービスを実現し、国内・国外の観光立国を推進する。

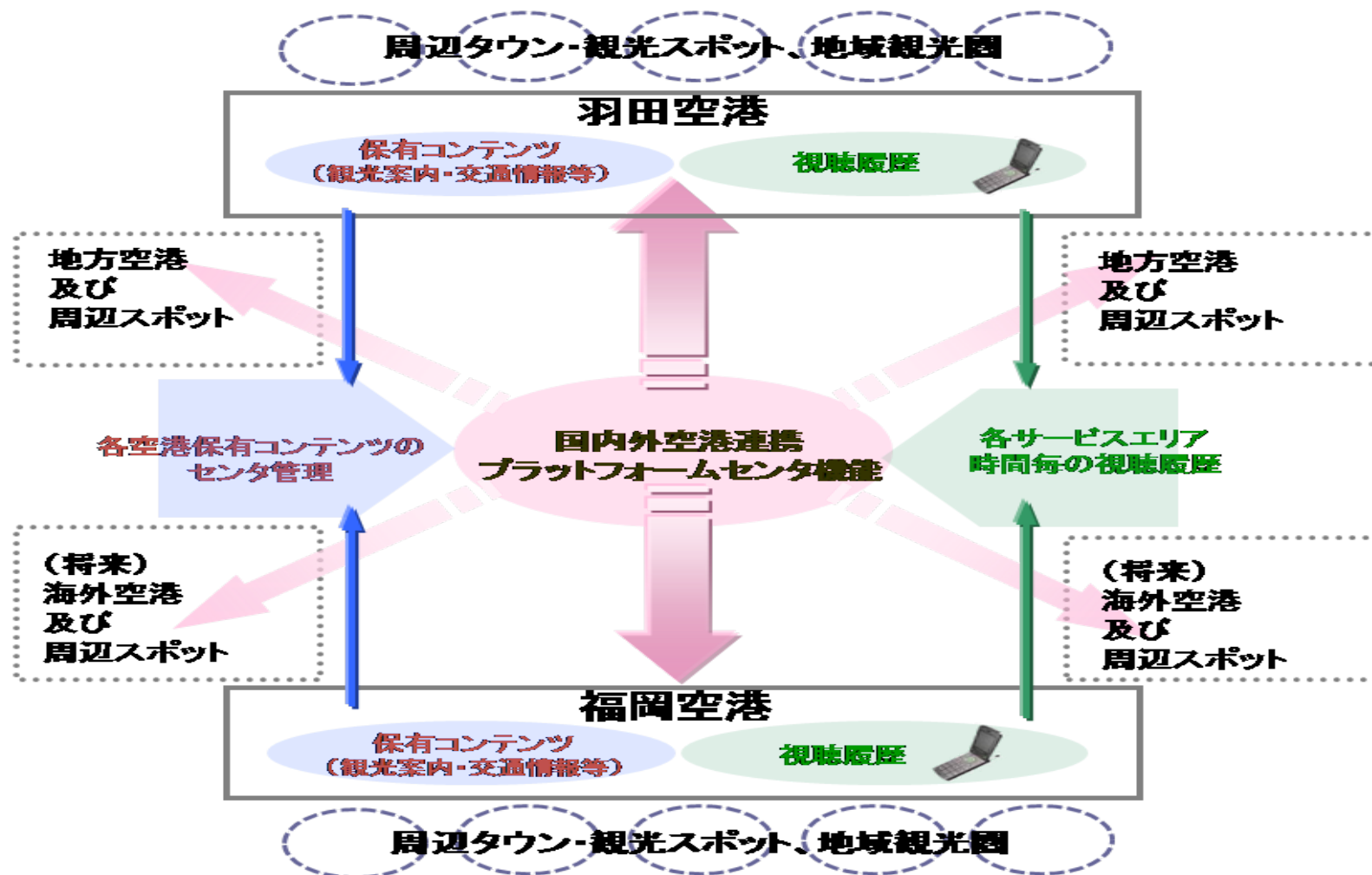
サービスイメージ図



概要

空港においてエリアワンセグにより目的地の情報や特産品情報、e-commerceなどを提供する空港連携ワンセグ・サービスを実現し、空港と周辺地域の活性化を目指す。

サービスイメージ図



【(株)デジタルメディアプロ】ホワイトスペースを活用した地下空間放送局構想

概要

ホワイトスペースを活用して地下空間で様々な情報を配信し、地下空間における情報格差、特に災害時、緊急時においても情報伝達障壁をなくし、快適な地下空間を創造する地下空間放送局構想を実現。

サービスイメージ図

構想イメージ図

copyright (C) DigitalMediaPro.Co.,Ltd. All rights reserved.

我が国の地下鉄・地下街におけるオリジナルコンテンツをもった放送局構想

オリジナルコンテンツをもった放送局開局には公共性や安全性そして事業性が必要

公共性

※地下鉄／地下街にいても、地上にいる場合と同じ情報を共有

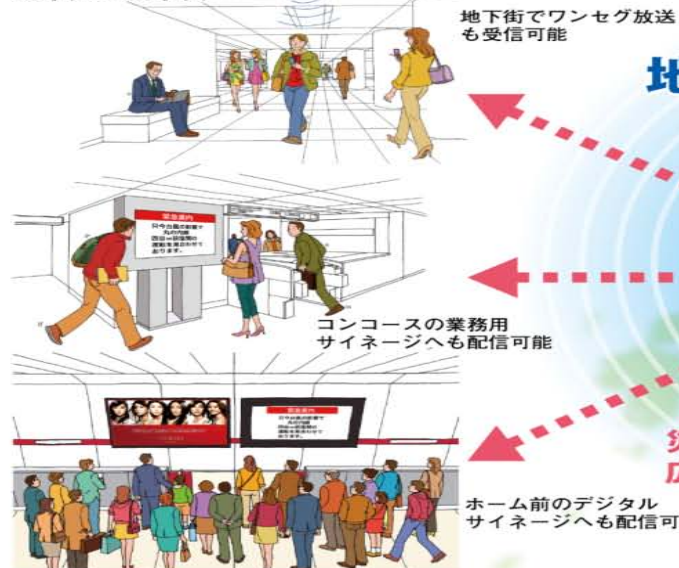
安全性

※災害時の緊急情報伝達手段や運行情報としての活用

事業性

※運行情報等の業務情報／生活に役立つ広告等各種コンテンツ放送、NEWビジネスフロンティアetc…。

地下鉄&地下街



地下空間放送局構想



災害時の緊急情報/運行情報や
広告/各種コンテンツの放送

携帯やPCへ動画や静止画も配信可能



車内TVで緊急情報も
ダイレクトに伝達!



概要

エリアワンセグを活用して、地域に密着した情報を提供する限定放送局を創設し、地域活性化に寄与していくことを目指す。

サービスイメージ図

兵庫県の強み

情報コンテンツの地産地消



まちかどカメラマン
住民ディレクター

葉子博撮影ボランティア
参加者 79人、投稿数 230件
期間中の閲覧数 11,400件



地域SNS登録者数
約9,000人
1日あたり 11万PV

地域SNS
(動画配信可能)



エリア限定
ワンセグ放送

放送と通信の連携

めざすべき方向性

地域市民メディアとしての
ホワイトスペースへの期待

ツーリズムでの活用

○グリーンツーリズム、エコツーリズムの
セルフガイド機能として活用

コミュニティでの活用

○コミュニティ独自の情報発信が可能
遮蔽物が少ない農山漁村、
見通しのきく商店街では特に有効

イベントでの活用

○県内各地のイベントなどで活用

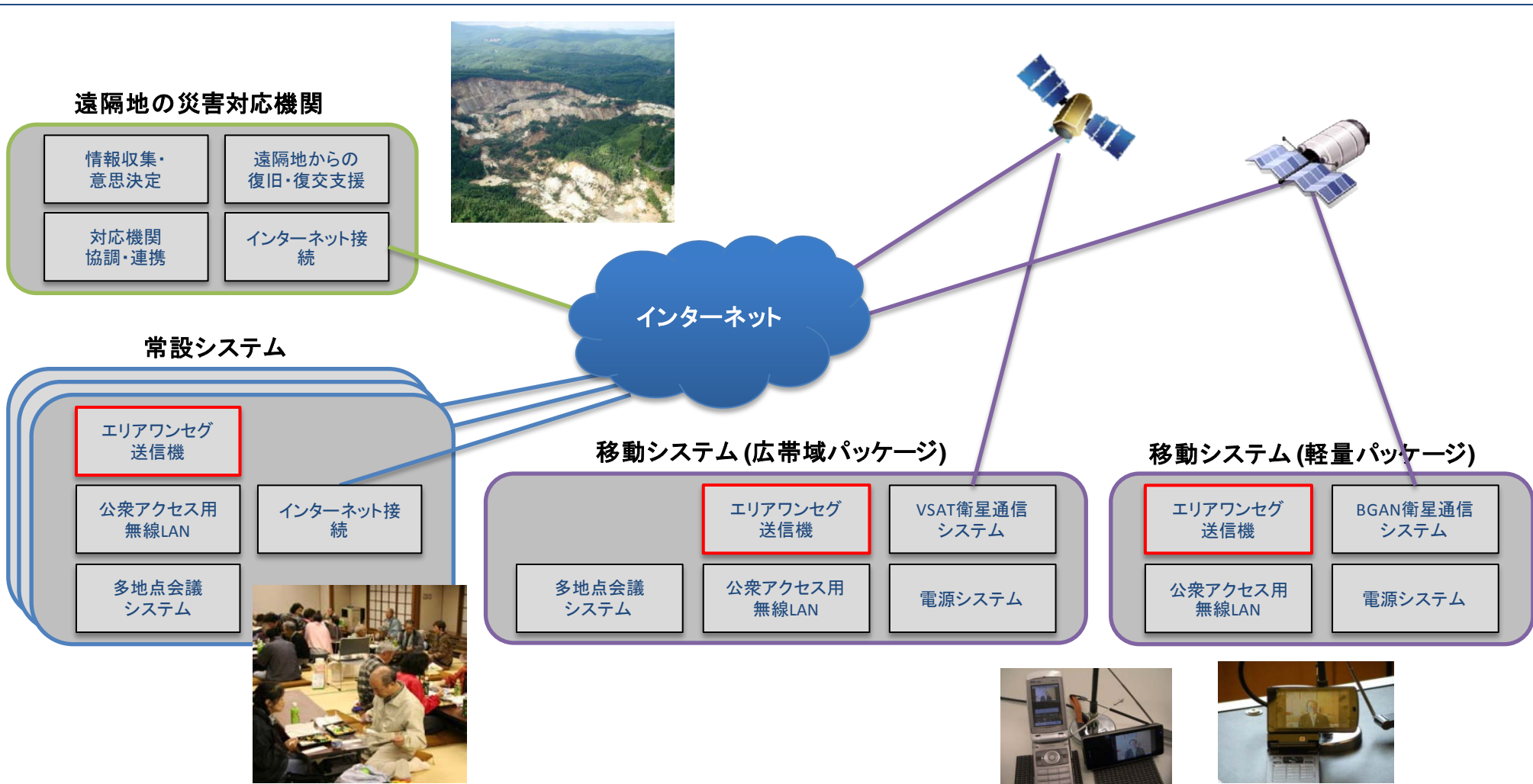
広報手段としての活用

○地域SNSと連携した
デジタルサイネージでの情報発信
観光案内所などにサイネージ端末を設置し、
地域間交流を促進
サイネージ端末で広域的な情報を周知し、
現場はエリア限定ワンセグで対応

概要

災害時においてエリアワンセグにより災害情報や地域情報を配信し、災害時における早期情報手段の確保や被災地の安心・安全の確保に寄与していくことを目指す。

サービスイメージ図



概要

エリアワンセグによる地域メディアの活用により、地域サービス、コミュニティ活動の活性化、雇用創出の実現が期待される。

YRP研究開発推進協会では、放送・通信事業者、メーカー、システム事業者、制作事業者、研究機関など約40団体が集まり、エリアワンセグ放送の実用化に向けて検討しており、これまでの実証活動や情報発信主体者との議論を通じ、地方自治体、交通事業者、大学、タウンスポット、博物館、イベント事業者、テーマパーク事業者、会議場運営事業者、放送事業者等からエリアワンセグの活用打診、実証依頼が寄せられているところ。

サービスイメージ図

(コンテンツや主体者での分類)



3

屋内や屋外の特定エリアにおける配信例



屋内:

10m平方の小部屋から、200m平方規模の展示会場まで。商業施設、駅・空港など、複雑な内部構造を持った空間もある。

屋外:

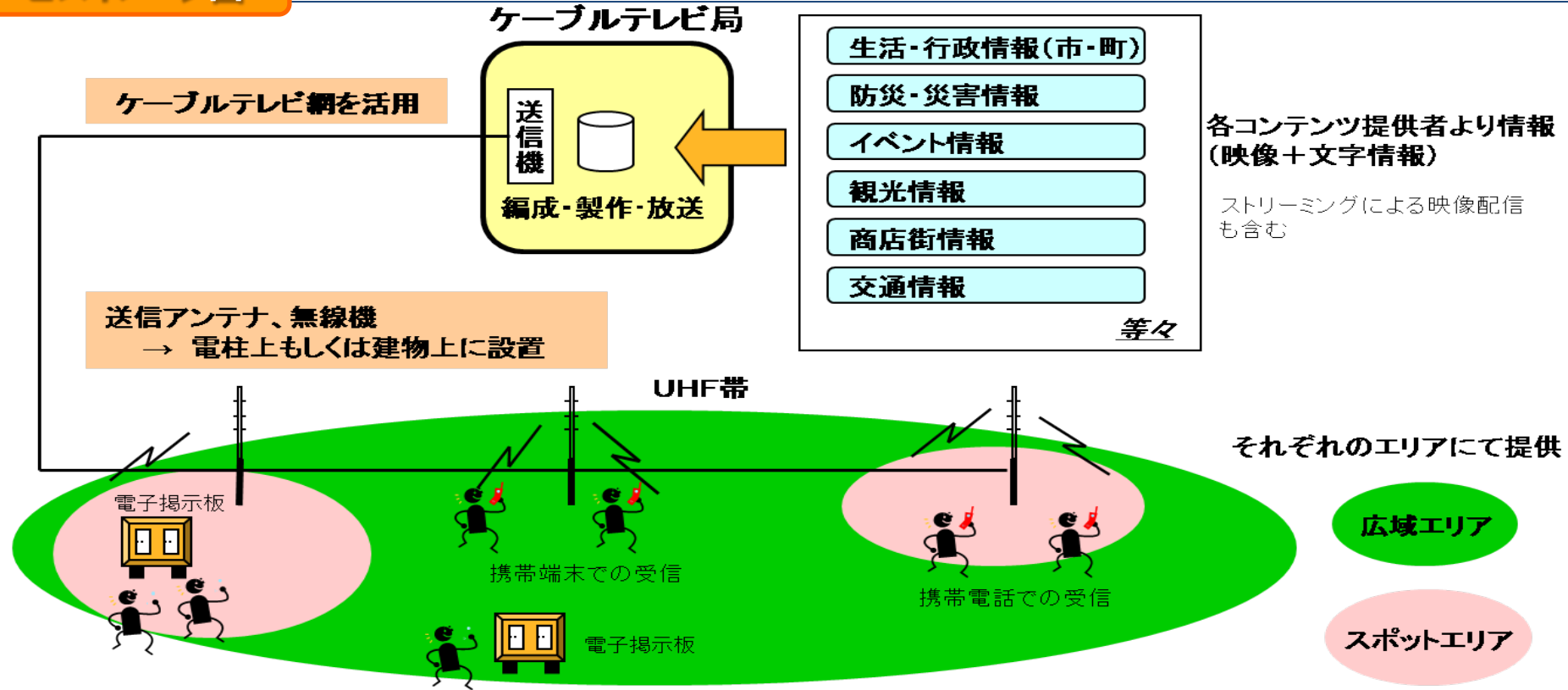
スポーツ競技場や公園のような管理された空間、市街地のような一般的な開空間まで。

【(社)日本ケーブルテレビ連盟】地域経済活性化に向けたCATV網を活用した地域ワンセグ放送

概要

地域に密着したケーブルテレビ網を活用し、携帯電話等を主な受信端末としたUHF帯における地域ワンセグ放送の仕組みを用いた無線サービスを導入する。広域エリアとスポットエリアなど、エリア分けによる発信情報の区分けを行い、地域に特化した情報を発信し、地域の活性化や地域住民の福祉向上を目指す。

サービスイメージ図



【生活・行政情報】

- ・行政情報
- ・回覧版
- ・気象情報など

【防災・災害情報】

- ・災害速報、状況
- ・非難勧告、誘導など

【イベント情報】

- ・祭り
- ・スポーツ
- ・展示会など

【観光情報】

- ・観光案内
- ・土産情報
- ・宿泊案内など

【商店街情報】

- ・店舗紹介
- ・商品説明
- ・特売情報
- ・タイムセールなど

【交通情報】

- ・経路案内
- ・渋滞情報
- ・運行情報など

概要

提案1: スーパーハイビジョンの公開実験

UHF帯(13ch~52ch)のうちの任意の2つのチャンネルを利用(計12MHzを利用)し、120Mbps程度に圧縮したスーパーハイビジョンの実験を実施し、新たな放送サービスによる産業振興を目指す。

提案2: 被災地におけるエリア限定ワンセグの活用実験

UHF帯のうちの1つのチャンネル(6MHz)を利用し、被災地において安否情報や生活情報などのきめ細かな災害関連情報を提供できるようなエリア限定のワンセグによる実験を実施し、高臨場感のサービス実現による国民の安心・安全への寄与を目指す。

サービスイメージ図

